

令和8年度 学校だより



双葉のいのち

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/baba/>

令和8年4月30日
横浜市立馬場小学校
校長 橋口 三幸

5月号

幸せの種

校長 橋口 三幸

4月28日に「1年生を迎える会」が開かれました。会場である体育館全体に「1年生馬場小にようこそ！これからよろしくね。」という歓迎の空気が流れていて、1年生も安心した顔をしていました。みんなでひとつのところに集まって集会をすることのよさを改めて感じました。



6年生と手をつないで入場

さて、先日、スーパーで買い物をしていた時のことです。レジの方に対して、熱心に苦情を言っている方を見かけました。レジの方が「申し訳ありません。」と謝っても、なかなかやめる様子はありませんでした。周りで順番を待っている人たちも、きっと嫌な気持ちになったのでしょう。皆の表情が曇っているように感じられました。私は、お店の人を大声で責めているその姿を見て、「きっとこの人は幸せではないのだろうか」と思い、強い怒りを抱えている様子が、どこかかわいそうに感じられました。

現在、日本は世界でも豊かな国だといわれています。お店に行けば、多くの品物が並び、お金を出せば欲しいものを手に入れることができます。しかし、国連の調査による世界幸福度ランキングでは、昨年度、147か国中55位でした。これほど物質的に恵まれた国に住んでいても、幸せを実感している人は決して多くないのかもしれない。

朝、正門に立っていると、「校長先生、おはようございます！」と全力であいさつをしてくれる子がいます。授業中に教室をそっとのぞくと、一生懸命話を聞いて学習に取り組んでいる子や、先生の質問に「はい！はい！はい！」と意欲的に手を挙げている子の姿が見られます。中休みには、校庭で友達と夢中になってドッジボールをしている子や、コンビネーション遊具で楽しそうに遊んでいる子がたくさんいます。キラキラとした目で、何事にも全力で取り組む馬場っ子たちの姿を見て、「この子たちは、今この瞬間を大切にしながら、楽しく、幸せに過ごしているのだろうか」と感じます。

私たち大人が日々の生活の中でどんな姿勢で子どもたちと関わるかが、子どもたちの感じる「幸せ」に大きく影響しているのではないのでしょうか。子どもたち一人ひとりの心の中にある「幸せの種」を芽吹かせ、大きく育てていくことは、周りにいる私たち大人の大切な役目だと改めて思います。

私たちが大人が日々の生活の中でどんな姿勢で子どもたちと関わるかが、子どもたちの感じる「幸せ」に大きく影響しているのではないのでしょうか。子どもたち一人ひとりの心の中にある「幸せの種」を芽吹かせ、大きく育てていくことは、周りにいる私たち大人の大切な役目だと改めて思います。

新年度のスタートに際して、馬場レンジャーさんが1年生の朝の支度や給食準備のお手伝い、下校時の付き添い等で活躍してくださいました。保護者当番の方、にこにこ防犯隊の方々、横断歩道や門の前で登校の見守りをしてくださっています。登校班での登校時は、校外委員さんの付き添いが心強かったです。子どもたちの安心や安全に目を配っていただき、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

本格的に学校生活がスタートしました。各学年で学年開きや学級開きが行われました。今回は1～3年生の様子をお知らせします。来月号で、4～6年生・5組の様子をお知らせします。

1年生

入学して一か月がたちました。新しいことへの期待と少しの不安を抱えながら毎日を過ごしている様子が見られます。スタートカリキュラムを通して、幼稚園や保育園での生活も活かしながら、少しずつ学校の生活にも慣れてきています。学校の様々な出来事に興味津々の子どもたちです。探検バッグを背中に背負い、学校探検によく出かけています。6年生を中心に様々な学年や教職員に関わりながら、学校生活を楽しんでいる様子がみられます。



2年生

新2年生がスタートして早くも一か月が過ぎました。4月は、新しい環境に慣れながら、友達との絆を深める大切な期間となりました。

図工の時間には、「きせつをかんじて」という単元に取り組みました。風に舞う桜や、たんぽぽなどの春の草花、風の匂い、暖かな日差しなど、五感を通して感じる春の様子をクレパスやクーピーで描き、一枚の紙に切り貼りして春の風景を表現しました。

23日には、各クラスで行ってみたいところを決め、馬場の町の春探しに向かいました。虫や、花、ザリガニなど、馬場小の中では見つからないものを発見し、「次も行きたい!どこに行こうかな。」と次回の探検を楽しみにしていました。



3年生



「中学年」として3年生が始まってから一か月が過ぎました。最初は緊張していた子どもたちも、徐々に元気で明るい姿が見られるようになってきました。

4月は、学年集会を通して、一人ひとりがどんな3年生になりたいか、思いを膨らませました。3年生全体での初めての集会でしたが、自分たちで気が付いて話を聞く姿勢を整えることができました。メデイシングボールやフラフープくぐりのゲームでは、工夫をこらして友達と協力しようとする姿も見られました。

また、3年生から新しく「理科」「社会」「ふたば」の学習が始まりました。どんな学習をしていくのか、わくわくしながら学習に向かう子どもたちの姿は、とても生き生きとしています。

